

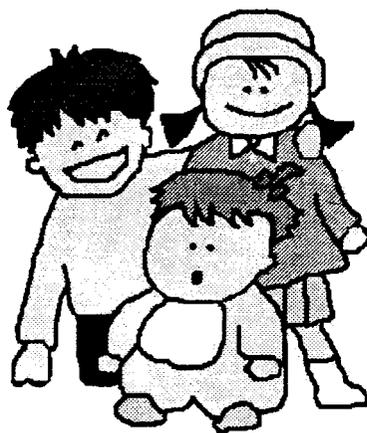
中標津町子育て支援



HOME INDEX

- 子育て支援計画
- 子育て支援の仕組み
- 保育園
- 幼稚園
- 児童館
- 子どもの成長と所見
- 児童虐待
- 各種手当・制度
- 関連機関リンク

🎵 子育てに悩みや迷いはつきものです。
中標津町では、そんな子育て中のお母さんたちに、
さまざまな形でサポートできるように支援体制を作っています。
ぜひご自分に合ったサポートを見つけて活用してください。



写真館
子育て通信
「きんたろう」
児童館だより



主催/北海道中標津町役場 町民生活部 子育て支援室
電話 0153-73-3111 (内線 231)

中標津町子育て支援事業

中標津町子育て支援室

子育て支援室は中標津町の子育てに関わる事業を総合的に展開するために、平成 18 年月新設されました。子育て支援に関わること、保育園、児童館、児童手当・児童扶養手当の窓口となります。また、子育て相談窓口も開設しており、ケースによっては、どういう専門の機関でケアを受けることがよいのかを保護者と一緒に考え、調整をする役割を担っています。

中標津町子育て支援・虐待防止ネットワーク

中標津町子育て家庭の支援・及び児童虐待や配偶者暴力の未然防止・早期発見・早期解決を図るため、各機関が連携し、ネットワークを組織しています。

(中標津町子育て支援・虐待防止ネットワークは児童福祉法に基づく地域要保護連絡協議会に位置づけられています。)

中標津町子育て支援ホームページ及び 中標津町子育て支援ガイドブック

中標津町の官民すべての子育てに関する情報を掲載しています。

子育て支援機関紙「きんたろう」【別紙参照】

中標津町子育て総合支援センター

赤ちゃん、幼児、小学生、中高生やお兄さん・お姉さん、おとうさん・おかあさん、そしておじいちゃん・おばあちゃんとすべての人が笑顔で交流できる安心で安全な子育て支援基地をめざして！

平成 18 年 4 月よりここにこ児童館に開設された「中標津町子育て総合支援センター」は連日、子育て奮闘中のお母さんとそして赤ちゃんや子どもたちで賑わっています。「転勤してきてお友達がいない」「同じくらいの年齢の子が近所にいない」など、子育てのちょっとした話をするだけでもできない状況の中では、ひとりっきりで悩みを抱えてしまい、時にはつらくなってしまいうこともあります。子育て総合支援センターは、育児についての悩みや不安の相談、情報の交換、親子遊びの体験広場など、子育て中の多くの保護者の交流を通じて、友達の手、子育て支援の手を広げていくことを目的にした、お母さん方が安心してリラックスできる子育てスペースです。

中標津町チャイルドアドバイザー

中標津町では、特技・経験や専門的な知識をもった地域の方々に、チャイルドアドバイザーとしてご登録いただき、児童館や子育て支援センターが行う事業において、豊かな人間性と創造性を育む指導者として次世代を担う中標津町の子どもたちの健全育成に寄与していただいています。平成 18 年度からスタートしたアドバイザー制度には、既に個人・団体併せて 18 組の登録があり、児童をとりまく地域力の推進・向上を目指したボランティア活動を展開しています。

チャイルドアドバイザーの活動・指導内容

自然体験・フォークダンス・パトントワリング・手芸・工作・フラワーアート
将棋・民謡・琴・剣舞・コーラス など

平成 18 年度 中標津町子育て支援体制

＜ 町民生活部 子育て支援室 ＞

子育て支援係

子育て総合業務

◎子育て支援総合窓口

- ◎手当関係業務（児童手当・児童扶養手当）
- ◎母子家庭等支援（児童扶養手当・中標津町母子家庭等子育て支援給付金）
- ◎子育て情報機関紙（きんたろう）の発行及びホームページ、ガイドブックの作成・管理

児童会館（東・西・わんぱく・なかよし・計根別）

児童会館は児童の健全育成や子育て支援等、地域の核となる児童施設として重要な役割を担っている。

◎放課後児童クラブ（留守家庭等児童対策）（平成7年より実施）

両親の共働き等の事情により放課後家に保護者のいない家庭の児童が、安全に放課後を過ごし、また児童の健全育成に寄与することを目的に、学校から鞆を持ったまま児童会館へ通い、児童会館から帰宅させる事業。

- H16 より事業拡大
 - H16 18時までの時間延長、昼休みの利用可能（長期休業日）
 - H17 長期休業日の朝時間延長（8:45～）

◎児童館地域子育て支援センター（各児童会館） 火～金曜日 10:00～12:00

小さな子どもとその母親が自由に遊べるスペースとして各児童会館を開放（自由来館）。東・西児童館については子育て専門の指導員が配置

子育て総合支援センター（にこにこ児童会館）

◎にこにこ児童会館を「子育て総合支援センター」と位置付け、専門指導員2名を常勤配置
子育て支援ひろばの開催、講演会等における事業の実施計画及び運営総括に関わること。

＜総合福祉センター「ぶらっと」での移動子育て支援ひろば事業＞

- ・ばぶばぶくらぶ 毎週水曜日 10:00～12:00
0歳～1歳6ヶ月児を持つ母親が集い、交流する場を提供することを目的に開設。
- 1歳6ヶ月をこえたら「いどばたの学校」の加入を推進していく（自由来館）。

~~~~~ 関係機関子育て支援事業 ~~~~~

#### 保健センター 保健センター子育て支援事業

◎ママの交流会  
2、3ヶ月の赤ちゃんを持つ母親の交流の場

◎遊びの教室  
子育て専門指導員の派遣

#### 中標津町子育て支援・虐待防止ネットワーク会議

（中標津町要保護児童対策地域協議会設置）

平成14年11月に全町の子育てに関わる機関が集結し、子育て支援及び虐待防止を目的に発足したネットワーク会議。改正された児童虐待防止法により、「要保護児童対策地域協議会」として設置することが義務付けられている。  
(H18年度設置要綱策定予定)

#### チャイルドアドバイザー事業

特技・経験を持った地域の高齢者や専門知識を有する方々をチャイルドアドバイザーとして登録し、児童会館及び子育て支援センターが行う事業において、豊かな人間性と創造性を育む指導者として次世代を担う子どもたちの健全育成に寄与していただくことを目的とする。

#### 【児童会館を拠点に活動】

◎いどばたの学校  
1歳から幼稚園前までの子どもを持つ母親が仲間作りと子育ての情報交換の場として子育てサークルを組織し、各児童会館において独自の活動を行っている。また6つあるサークルが結集し「いどばたの学校」として協議会を置く。事務局・コーディネーターとして子育て支援係で統括。

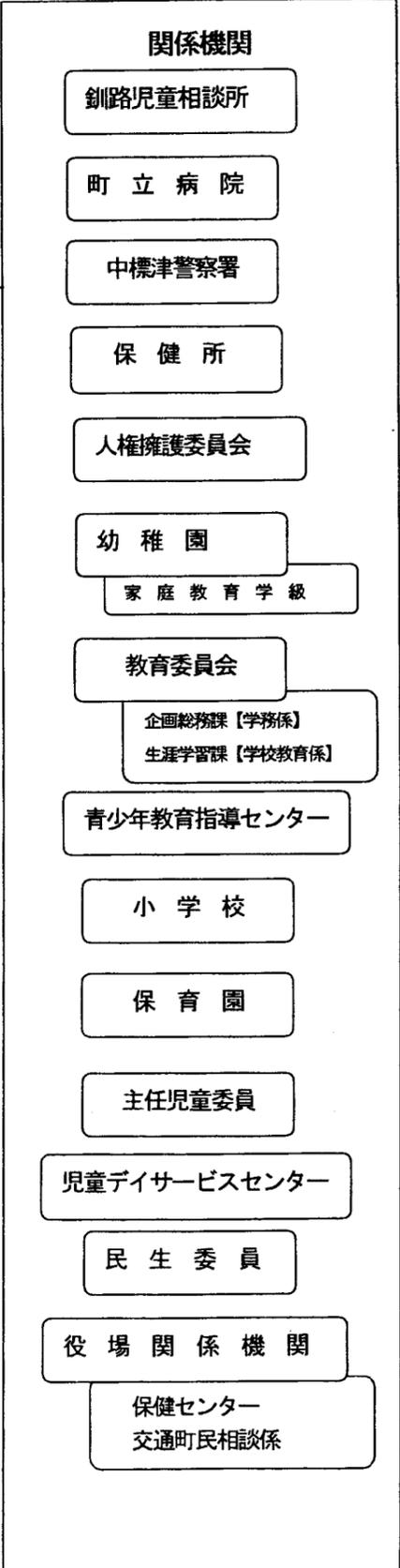
- ・コアラの会 ・やんちゃクラブ
- ・なかよしクラブ・わんぱくクラブ・ひよこクラブ

◎母親サークル  
児童会館を拠点に趣味を生かした活動を行っている。サークル連絡協議会を持ち、児童館まつり等、イベントにも大きな貢献をしている。

- ・手芸「ママさん」
- ・パッチワーク「カントリーベア」

#### 【民間の子育てボランティア】

- ◎ホットハンド
- ◎子育てスペース「るるる」



子育て支援に関わる団体



## 中学生・赤ちゃん交流実施アンケート・感想

本当にありがとうございました。生徒からの感想にもありましたが、この企画はお母様のご理解と赤ちゃんの協力無しではできないものでした。本当に感謝申し上げます。来年以降も「生命教育」は学校と連携しながら、ぜひ進めていきたいと考えております。今回の交流に關しまして、お気づきの点がありましたら、小さなことでもかまいませんので、感想としてご意見くだされば幸いです。(子育て支援スタッフに後日お渡しください。)

### アンケート

1. なぜ赤ちゃんボランティアに参加しようと思いましたか?【複数回答可】

①面白そうだから ②中学校にいったみたかったから ③友達に誘われて

④なんとなく

【その他

】

2. 赤ちゃんボランティアでを実際にしてみてどんな感想を持ちましたか?【複数回答可】

①楽しかった ②中学生が怖かった ③中学生がやさしいと感じた

④どう対応していいかわからなかった ⑤不安だった

【その他

】

3. このような企画をどう思うか

①ぜひやるべき ②やったほうがいいと思うけれどボランティアはもうしたくない

③やるべきではない

### 感想

私が中学生の目撃を思い出してみると、赤ちゃんにふれる機会が全くなく、その目撃の前に赤ちゃんがいたらどう対応していいのかわからず、戸惑ったと思う。

今回、赤ちゃんボランティアの話をうけ、中学校に行く事に承諾したが、初めは、どんな交流が行っているのか、企画に興味があった。実際、中学校へ行ってみると、私が驚く程に赤ちゃんに慣れた手つきで、抱っこする生足、どうしたらいいかわからず、やっと抱っこして生足、不気味であった。

私も中学生の目撃、こんな授業があったら「こんな良かった」と感じた。小さな子が一生懸命に生き、一生懸命成長している。そんな事が、伝えられていたらと思う。

アンケートの中で、菜見の愛情を感じないという子も、たいてい(争をたど)でどくショックだった。今回のこのような交流が、鬼畜期の子どもたちに、少しだけ優しく接する事ができるなら、大成功だと感じ、命の大切さを教える為にも、言葉だけでは伝えられないはずだから、このような機会をどんどん増やしていったらいいと思います。

### ご意見・ご要望